

大学・銀行協働による海外就業体験プログラム

－ PBLとしての「徳山大学OSP2014台湾」の実践－

Overseas work experience program of universities with Bank collaboration
Practice of "Tokuyama University OSP2014 Taiwan" as the PBL

紙矢健治・楊政樺・田村健児・李岳道

分野：377 (国際学術交流)

キーワード：海外就業体験プログラム、アクティブ・ラーニング(AL)、課題解決型学習(PBL)、台湾

1. 実施の目的と概要

徳山大学と株式会社西京銀行は、2007年度に包括的な連携協定を締結し、第4回徳山大学海外就業体験プログラムは、この協定に基づき、協同して実施したものである¹⁾。徳山大学海外就業体験プログラムは2011年度から、台湾の国立高雄餐旅大学とPTS台湾公共電視の協力を得て、毎年夏季休暇中に集中講義として実施してきた。特に今回は、西京銀行が山口県から「地域人づくり処遇改善支援事業」を受託したのを受けて、山口県内の中小企業商品の販路開拓を支援し、持続的な発展を目指す取り組みを進めるにあたり、筆者1（紙矢）にアドバイザー就任を依頼し、企画実施に結びついたものである。西京銀行の顧客ニーズと徳山大学の教育・研究シーズを結びつけ、協同して地域の課題解決の拠点になることを目指す試みとして、4回目を迎える台湾研修では、従来の「見学型研修」から「能動的研修」への転換を図られた。徳山大学が推進する「アクティブ・ラーニング (AL)」の「サービス・ラー

1) 徳山大学と(株)西京銀行は、平成19年1月に「徳山大学と株式会社西京銀行との連携・協力に関する協定」を締結し、産業振興及び教育文化振興推進、地域社会発展と人材の育成を図ることなど全面的な産学連携を行ってきた。また、2012年度以降、地域課題発見解決のためのアクションや芸術文化、スポーツに至るまで幅広い活動を協同して行ってきた。

詳しくは徳山大学ホームページを参照されたい。www.tokuyama-u.ac.jp/about/evaluation/hyouka-kizyun10.pdf

ニング」の一環として、また今回は、新たに地域の「課題解決型授業（PBL）」として、筆者4名が、それぞれの教育・研究シーズを結びつけ、実施したものである。

なお、徳山大学が実施した2011年度から2013年度までの海外就業体験プログラムについては、表1の内容を参照されたい。2011年度から2014年度までの学生参加実績は10名である。

(表1) 第1～3回海外就業体験プログラム研修受入先機関

分野別	研修受入機関
福祉関連	台南市徳輝苑（高齢者入所施設）、高雄県喜喜家園（身体障害者入所施設）、エデン基金会鳳山早療センター（心身障害児通所施設）、心路基金会（障害児（者）通所施設）、財団法人屏東県沐恩之家（薬物中毒者更生施設）
知財関連	PTS台湾公共電視（台湾公共放送）、FTV全人民間電視、オスカー3Dシアター（高雄）、文化省衛武宮芸術文化センター
教育関連	高雄市長高雄啓智学校（特別支援学校）
大学間交流	国立高雄餐旅大学、国立中山大学

2. アクティブラーニング（AL）のための「海外就業体験」

(表2) 第4回徳山大学海外就業体験プログラム実施概要

実施期間：2014年9月7日（日）～13日（土）
訪問先：台北市、高雄市
実施教員：紙矢健治（経済学部教授）
参加学生：3名
実施協力：東方設計大学、国立高雄餐旅大学、台北城市科技大学

「アクティブ・ラーニング (AL)」とは、従来の「座学」ではなく、「能動的学習」である²⁾。徳山大学は文部科学省の平成 26 年度「大学教育再生加速プログラム (AP)」選定において「テーマ I (アクティブ・ラーニング)」の類別で採択されたことを受け、全大学が一丸となって、ことには取り組んでいる³⁾。もとより徳山大学は「EQトレーニング (I)」「EQトレーニング (II)」「教養ゼミ」「地域ゼミ」「専門ゼミ」など入学から就職までの一貫した教育システムを推進してきており、とりわけ情報教育などでは評価が高い⁴⁾。この海外就業体験プログラムは、それらに国際的な就業体験を加えることによって、他大学にはない、特色ある国際就業体験機会を学修者に提供することを目的にとり入れられた。また第1回より教務部予算から学修者の渡航費用の一部を支給し、第2回 (2012年度) からは正式な課目「OSP (B)」として単位認定も行われるようになった。

徳山大学では本プログラム以外に、「外国語学修プログラム (Total-immersion program in Australia)」、「海外交換留学プログラム (台湾・韓国)」などを実施している。「外国語学習プログラム」を「OSP (A) (Overseas Study Program)」、「海外就業体験プログラム」は「OSP (B)」に分類し、正式課目として2～4単位を認定している⁵⁾。

2) 文部科学省ホームページを参照されたい

「平成 26 年度大学教育再生加速プログラム選定状況」

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/.../1350949_1.pdf

「用語集」

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2012/10/04/1325048_3.pdf

3) 「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～ (答申)」文部科学省ホームページを参照されたい。<http://www.jsps.go.jp/j-ap/data/ap-sentei-kekka.pdf#search=%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E6%94%B9%E9%9D%A9+%E5%BE%B3%E5%B1%B1%E5%A4%A7%E5%AD%A6+AP>

4) 文部科学省補助により、すでに学内にラーニングコモンズが整備されている。

5) 「OSP」とはOverseas Study Programの略語である。OSP(A)は、オーストラリア・韓国での語学研修(3週間)で、認定される単位数は4単位である

(表3) 第4回海外就業体験プログラム2014台湾スケジュール

月日	午 前	午 後
9月7日(日)	徳山から新幹線で関西国際空港へ。航空機便にて台北へ。	
9月8日(月)	午前中は台北市内観光 ・ 総統府、中正記念堂他を参観	16:00 台北城市科技大学を訪問。民生学院院长(学部長)が応対。西京銀行が受託した県産品の売り込みイベントの会場を下見する。
9月9日(火)	10:00三普旅行社本社 HIS台湾法人三賢旅行社の陳 茂彬總經理等が応対、ただち にゼミを実施。	14:00遠東航空本社 黄宋丞總經理(社長)、副總經理4名他 が応対。台北国際空港(松山)ハンガー および機材内を参観。同社内で1時間半 のゼミとした。 16:00復興航空本社 17:30台湾高速鉄道(THSR)に乗車、 高雄へ移動。 (高雄国軍英雄館泊)
9月10日(水)	08:30 国立高雄餐旅大学応用日語系 王珍妮主任出迎え	14:00 PTS 台湾公共電視南部多機能スタジオにて周 伝久氏、鄭仲宏氏による演習ゼミを実施 19:00 高雄市青年創業協会例会に参加 (高雄市の尊龍大飯店)
9月11日(木)	10:00 東方設計学院訪問 李福登董事長(理事長・国策 顧問)	13:30 LED社訪問 15:00 愛国関係企業を訪問 16:00 台茶国際公司を訪問 18:30 ホストファミリーとの晚餐 (高雄国軍英雄館泊)
	11:00 高雄市立信義国民小学訪問	14:00 信用国際旅行社訪問 陳慧彬經理によるゼミを実施 16:00 台湾横河 内山秀俊協理によるゼミを実施 18:00 高雄「夢時代」を参観
9月13日(土)	14:05 高雄小港国際空港から航空機(直行ノンストップ便)にて関西空港へ。 新幹線に乗り換え徳山へ帰着。	

3. 役割分担

筆者1（紙矢健治）は、徳山大学経済学部教授であり、1997年2月より2010年9月まで国立高雄餐旅大学餐旅学院（学部）に勤務し、それまで同大学で「海外参訪（海外研修）」を5回実施した。主に航空管理科（系）の属性にあわせて、ヨーロッパのツールズにあるエアバス本社などの参観に重点を置いた研修を行った。ヨーロッパで4回、アメリカ西海岸で1回実施した⁶⁾。筆者1は、国立高雄餐旅大学の航空暨運輸服務管理系主任・運輸暨休閒服務規劃学位学程所長（大学院学科長）を兼務する筆者2（楊政樺）と相談し、特に筆者2が持つ航空会社との太いパイプを徳山大学の海外就業体験プログラムに活用することとした⁷⁾。筆者3（田村健児）は、株式会社西京銀行地域連携部主任調査役であり、関連企業の株式会社西京総研事業開発部長を兼務している⁸⁾。前述のとおり、山口県から「地域人づくり処遇改善支援事業」を受託をうけて、本プログラムに参加する学生に、「地域における銀行の役割」を中心とした事前授業を計6時間（紙矢研究室2回、西京銀行本店2回）実施し、顧客ニーズについても詳しくレクチャーした。本プログラムで、きわめて重要な要素は、西京銀行の顧客ニーズに応えるバイヤーの手配である。筆者4（李岳道）は、長年、不動産会社に勤め、企業のマネジメント（管理）に取り組んできた。また、最近では社団法人高雄市青年創業家協会の理事として、高雄市における青年の起業を様々な形で支援している。とくにグリーン産業企業育成の分野においては高雄市政府との連携も多い。本プログラムでは重要な部分となる企業家（または起業家）の属する高

6) 国立高雄餐旅大学(前々身の「国立高雄餐旅管理専科学校」、前身の「国立高雄餐旅学院」の時代を含めて)では、学内での学習に加え3年次の1年間は「校外実習」に出て給与を得ながら仕事をおぼえる制度を導入している。この「校外実習」は必修単位である。また、卒業直前に行われる「海外参訪」は約半月の日程で実施される課目であり必修科目である(1単位課目)

7) 国立高雄餐旅大学観光学部ホームページを参照されたい。

http://tourism.nkuht.edu.tw/intro/super_pages.php?ID=introl

8) 西京銀行ホームページを参照されたい。

<http://www.saikyobank.co.jp/>

雄市青年創業協会やその他の大企業との連絡を、他の筆者3人と緊密な相談をしながら綿密なる準備を行い、とくに高雄市の企業家訪問の全行程に同行した。なお筆者4（李岳道）は、現在、香港珠海学院文学院中国歴史研究所博士班研究生である。

4. 実施内容について

今回の海外就業体験プログラムでは、当初から（1）岩国飛行場エアポートセールス、（2）山口県内中小企業の海外ルートづくり目的設定しトッププロモーションを行った。訪問企業・学校（大学も含む）は14か所となった。大学が実施する海外就業教育プログラムとして、課題解決のための具体的な成果が複数得られましたことはきわめて意義深いことであると言える。

4-1 岩国飛行場エアポートセールス

筆者1（紙矢）が筆者2（楊政樺）とともに、国立高雄餐旅大学（以下、高雄餐旅と略す）が「校外実習」の契約を行っている数社に対し、山口県内の空港への国際チャーターまたは定期便の就航を要請する機会を用意した。これは筆者2（楊政樺）が台湾の全航空会社との太いパイプを持つことによって初めて実現した。

遠東航空本社では、黄宋丞総経理（社長）じきじきに対応いただいた。まず、徳山大学訪問団による「岩国飛行場エアポートセールス」の提案を行い、それを黄総経理、また4名の副総経理（副社長）も同席され、岩国の利便性を熱心に聞いてくださった。

徳山大学訪問団の提案に対し、「山口県の就航してもいい」というお返事もいただいた。そしてつづいて行われた遠東航空のブリーフィングにおいては、同社紹介のパワーポイント（PPT）に、就航先として「岩国」を加えていただいた。なお、岩国飛行場は米海兵隊の管理にあり、就航には両政府当局の認可が必要であるが、就航を目標とするという意味でのご厚意として、かような対応をしてくださったことに、黄宋丞総経理をはじめ同社の皆様に

2014年12月 紙矢健治、楊政樺、田村健児、李岳道：大学・銀行協働による海外就業体験プログラム

心からお礼申し上げたい。今後は山口宇部を軸として「台北・高雄-山口」を軸として引き続き提案を続けたいと思う。



(写真1) 遠東本社でのプロモーション
左1が同社の黄宋丞総経理



(写真2) 技術担当の副総経理等の案内によりエプロンとハンガーと航空機内を参観



(写真3) 提案を取り入れてくださり、同社の就航地にとりあえず「岩国」を加えてくださる。



(写真4) 黄宋丞総経理（左）に山口県地図を贈呈



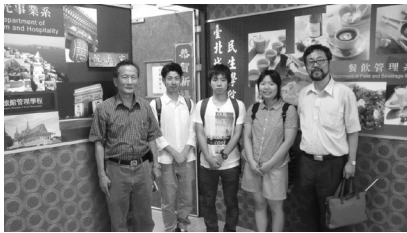
(写真5) 記念品贈呈（左1）黄宋丞総経理。



(写真6) 本社前での記念撮影。

4-2 山口県産品販売アテンド

西京銀行「山口県産品展示会」のセッティングを台北城市科技大学民生学院⁹⁾の黄招憲院長(学部長)に依頼した。同大学は1万1千人の規模であり、また、民生学院だけでも3千人を超える規模を誇る。台北都心や桃園国際空港や台北国際空港(松山)にも近く、黄招憲院長が所管する学部内には、厨房技芸(クッキング)に関連する学科もあり、同学院を拠点として、主に山口県産の食品の紹介を行っていきたいと思う。とりわけ、有名なホテルのシェフも非常勤講師として頻繁に来学している点に、同大学のルートを通じて山口県産の食品を広く台北市内のホテルレストランに紹介するチャンネルを持つ同大学の優位性を感じた。



(写真7) 台北城市科技大学民生学院
弁公室にて、黄招憲院長(左1)と
参加者。



(写真8) 黄招憲院長(左2) 主催の
夕食会

4-3 山口県観光インバウンド誘致

台北市の三普旅行社(台北市)と同社内にある三賢旅行社(HIS台湾法人)、そして高雄市の信用国際旅行社で授業を合計で3時限分の時間を持ち実施した¹⁰⁾。3社とも日本へのアウトバウンドのハンドリングを行う会社として実

9) 台北城市科技大学ホームページ <http://www.tpcu.edu.tw/bin/home.php>
台北市北投区にある大学である。同大学の黄招憲教授(院長)は筆者1(紙矢)の長年の上司・同僚である。

10) 三普旅行社 <http://www.taipei.jp/> 日本にも本社を東京に置く日本路線に強い旅行社である。現在では台北本社ビル内に日本のHISとの合弁企業「三賢旅行社」を運営しており、日本人スタッフも数多く勤務している。信用国際旅行社は、台湾の公営機関の入札では2003年度以降、95パーセントを引き受ける。

績があり、日本の旅行関係者からの信頼が厚い。三普旅行社は、徳山大学卒業生の林孟翰氏が勤務していることから実施の運びとなった。信用国際旅行社は、教育旅行・修学旅行の専門旅行社としての定評があり、昨年だけでも日へ1600人の送客ハンドリングを行った。陳慧彬經理（部長職）にお願いした研修セミナーでは、特に公立学校における修学旅行では、入札・落札の手続きから催行。そして修学旅行購買に関して、外国学校との交流に丸1日の時間をあてなければならないという規定があり、単なる卒業旅行にすることができず、外国の地方自治体や学校機関との緊密な連携が必要であるとの興味深いお話をうかがった。徳山大学と西京銀行が協同で県内にかなりの人数を誘致する機会があることが分かった。



(写真9) 三普旅行社・HIS台湾現地法人訪問。

左1は三賢旅行社陳茂彬總經理



(写真10) 三普・三賢旅行社の皆様と参加者



(写真11) 信用国際旅行社での研修ゼミ



(写真12) 信用国際旅行社の皆様と参加者

4-4 山口県企業・台湾企業間アテンド

今回の最も重要なバイヤー誘致アテンドである。筆者4（李岳道）により社団法人高雄市青年創業協会や地元企業との交流の場が持たれた。特に同協

会は台湾全国に同様の協会があり、主に50歳以下の青年起業家の集まりである。さまざまな業種の起業家おり、今後、山口県内の企業との協力を通じて、相互互恵の経済交流ができるものと期待される。



(写真13) 愛国関係企業の黄来進董事長（左5）



(写真14) 以賽亜企業總經理（右3）と参加者



(写真15) 台茶国際公司で同社總經理（右3）と参加者



(写真16) 高雄市青年創業協会との交流

おわりにかえて

前述のように第4回徳山大学海外就業体験プログラムは、その他の訪問先を含めるとその研修受入先は14か所となった。特に遠東航空では、総経理（社長）みずから応対してくださるなど、まさに「破格」の待遇を受けた。このご厚意に心から感謝している。山口県産のバイヤー誘致やルート確保では、台北城市科技大学に加え、高雄市青年創業協会、愛国関係企業との直接的な協力を通じて、西京銀行の顧客の海外ルートを少しでも多くアテンドできる見通しがついた。ご協力くださった、企業・学校（大学を含む）の皆様から御礼申し上げる。この台湾市場進出への筆者4人の試みが、山口県が目指す「働く人々の処遇の改善」につながるように、引き続き徳山大学と西京銀行が協同してとしてサポートして行きたいと思う。

【謝辞】

なお今回も PTS台湾公共電視の協力を得て、同局でのゼミも実施されました。周伝久先生に心から御礼申し上げます。また、紙幅の都合で紹介できなかったが、東方設計学院の李福登理事長（総統府国策顧問）、復興航空の皆様にも御礼申し上げます。今回紹介できなかった研修については、次回に紙幅をいただけるとのことなので、その時に詳しく紹介したい。

最後に末教務部事務取扱次長と徳山大学経済学会の浅原様に心からお礼申し上げます。また、本研究は2014年度「徳山大学経済学会教育貢献型研究助成事業」の助成を受けて実施したものです。



(写真17) PTS台湾公共放送多機能スタジオ

参考文献

岡野啓介、石川英樹「徳山大学の教育改革とアクティブラーニングの手法－地域ゼミの開設に向けて－」『徳山大学論叢』（第77号）、p37-56。

著者

楊政樺（国立高雄餐旅大学航空暨運輸服務管理系主任・運輸暨休閒服務規劃学位学程所長）

紙矢健治（徳山大学経済学部教授）

田村健児（株式会社西京銀行地域連携部主任研究員、株式会社西京総研事業開発部長）

李岳道（香港珠海学院文学院中国歴史研究所博士班研究生）

